

1. 開会 委員長あいさつ

2. 今後のスケジュールについて

(事務局より資料説明)

3. 市長への提言について検討

(事務局より資料説明、委員間で協議)

A委員

市長へ提言するので、もっと具体的な内容にすべきだと思う。提言が具体的でないと、市長も対策の打ちようがない。

B委員

相談する場として中間支援組織（一般社団法人なんと未来支援センター、公益財団法人南砺幸せ未来基金）があるので、それが浸透していないということが課題だと思う。それらの機能を強化していかなければならないという課題もあると感じている。

7 会議録

江田部会長

情報公開推進部会からの提言は「2. 市民への市政に関する情報の提供と市民参画について」である。部会の考え方としては、第5条（市民の権利）に対する認識が不足しているのではないかということである。

議論の入り口としては、パブリックコメントや実証実験が機能していないのではないかということだったが、協議を進める中で第5条の認識不足ということにたどり着いた。

渡辺部会長

どうする部会は幅広い議論がなされていたが、困りごとの相談の場が少ないことや、どこに相談していいのかわからないということだった。円卓会議は参加へのハードルが高いため、市民だれでも気軽に参加できる会議という意味で市民会議という単語を入れた。

A委員

情報提供ではなく情報共有ではないか。また、パンフレットや場づくりということに関して、既存のものを活用すべきでないか。

C委員

地域づくり協議会の活動の後押しをするため、円卓会議はもっと頻繁に

開催してほしいし、活性化すべきだと思う。市が円卓会議を開催する意義をしっかりと再定義してほしい。

D委員

前回の提言が実現できていないことを検証すべきだと思う。南砺市協働のまちづくり推進会議の存在意義がなくなっていると感じる。

A委員

推進会議からの提言をベースとして中間支援組織が発足しており、その他の事項についても実現されているものも多くある。その点に注目すべきではないか。

林委員長

非常に活発な議論となったので、もう一度部会長会議を開催し、提言について協議したいと思う。

4. 閉会 副委員長あいさつ

